

ホーム

＞ 社長挨拶

＞ 会社概要

＞ 事業内容

▼ プレスリリース

＞ 2019年

＞ 2018年

＞ 2017年

＞ 2016年

＞ 2015年

＞ 2014年

＞ 2013年

＞ 2012年

＞ バックナンバー

＞ 製品＆サービス

＞ サポート＆ダウンロード

＞ 採用情報

プレスリリース

プレスリリースに掲載されている製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

2016年

- 12月26日
[『富士通グループ会社 技術&製品展示会』を開催します](#)
会場 富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター
会期 2017年1月17日（火曜日）～2017年1月18日（水曜日）
- 10月25日
[「@Drive/Cabinet V03L06」を販売開始](#)
Webベースのファイル共有システム「@Drive/Cabinet」のV03L06の販売を開始します。
- 8月31日
[食・農クラウドAkisai 施設園芸SaaS向け・温湿度センサーの提供開始](#)
施設園芸SaaSなどに利用できる施設環境制御用 温湿度センサー（QSIP-GH-TH）を開発しました。
- 8月15日
[ゲリラ豪雨対策に活用できる下水道氾濫検知ソリューションを販売開始](#)
[富士通 / 富士通九州ネットワークテクノロジーズ]
- 8月2日
[組込み開発向け、RTOSエミュレータの提供開始](#)
組込み開発向け、RTOSエミュレータ
「QNET multiple OS abstraction interface library」（QmOST™）の提供を開始しました。
- 8月2日
[仮想化環境向け負荷試験ツール「NXS-PG/V」および「NXS-PE/V」を販売開始](#)
お客様の仮想環境上で動作するネットワークテストツールを提供します。
- 7月5日
[ザイリンクス社と「アライアンス プログラム\(“Certified”メンバー\)」パートナーシップを結びました](#)
[アルテラ（インテル プログラマブル・ソリューション事業本部）の「デザイン・ソリューション・ネットワーク（DSN）」に加盟しました](#)
- 6月1日
[Interop Tokyo 2016 に出展します](#)
会場 幕張メッセ
会期 2016年6月8日（水曜日）～2016年6月10日（金曜日）
- 3月10日
[センサーネットワークIoTプラットフォームの提供開始](#)
センサーネットワークIoTプラットフォームパッケージQSIP（QNET SensorNetwork IoT Platform）の提供を開始しました。
- 2月18日
[「@Drive/Cabinet V03L04」を販売開始](#)
Webベースのファイル共有システム「@Drive/Cabinet」のV03L04の販売を開始します。

関連リンク

- ＜ [当社へのお問い合わせ](#) ＞

このコンテンツについて

- ＜ [利用条件](#) ＞
- ＜ [個人情報保護ポリシー](#) ＞

[富士通ホームへ >>](#)

ホーム

＞ 社長挨拶

＞ 会社概要

＞ 事業内容

▼ プレスリリース

＞ 2019年

＞ 2018年

＞ 2017年

＞ 2016年

＞ 2015年

＞ 2014年

＞ 2013年

＞ 2012年

＞ バックナンバー

＞ 製品＆サービス

＞ サポート＆ダウンロード

＞ 採用情報

PRESS RELEASE

2016年12月26日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

『富士通グループ会社 技術&製品展示会』を開催します

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、2017年1月17日～18日の2日間 富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター（東京・浜松町）で富士通グループ4社合同の展示会を開催します。

「デジタル革新を支えるセンサー・ネットワーク」というテーマで、IoTを中心とした展示を行いますので、この機会に是非ご来場頂けますよう、お願い申し上げます。

合同開催会社

株式会社富士通コンピュータテクノロジーズ

富士通関西中部ネットテック株式会社

株式会社モバイルテクノ

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

関連リンク

・ [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

・ [利用条件](#)
・ [個人情報保護ポリシー](#)

shaping tomorrow with you

テーマ：デジタル革新を支えるセンサー・ネットワーク

『富士通グループ会社 - 技術&製品展示会』ご案内

日時：2017年1月17日(火)～18日(水)
17日 13:00～17:00（最終受付16:00）
18日 10:00～16:30（最終受付15:30）
会場：富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター
30Fセミナールーム 1・2
【東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル】

＜アクセス＞
JR山手線・京浜東北線/東京モノレール「浜松町駅」より副都心コースで直結

ごあいさつ

貴社ますますご発展のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。上記の通り『富士通グループ会社 - 技術&製品展示会』を開催いたします。富士通グループ会社各社がこれまでの製品開発を通じて培った、ワンランク上の品質や性能を実現する開発技術を用いた、製品／サービスをご紹介します。皆様の技術活用をご検討頂きたいと考えております。この機会に是非ご来場頂けますよう、お願い申し上げます。

展示概要

本展示会では、富士通グループ会社各社が得意とする技術をご紹介しますと共に、これらの技術を軸にした先進的なサービスや製品で、様々なお客様の課題解決につながるご提案をさせていただきます。

【出展会社・展示テーマ数】

・各社合同展示	:2テーマ
・富士通コンピュータテクノロジーズ(FCT)	:5テーマ
・富士通関西中部ネットテック(KCN)	:6テーマ
・モバイルテクノ(MTC)	:3テーマ
・富士通九州ネットワークテクノロジーズ(QINET)	:5テーマ



会場案内図

展示テーマ詳細 ※展示テーマは、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください

テーマ名(上段)/展示内容説明(下段)	
各社合同展示	<div> <div>ネットワーク</div> <div>センシング</div> <div>監視</div> <div>セキュリティ</div> </div> <p>デジタル革新を支えるセンサー・ネットワークのご紹介 ～富士通グループの総合力が、皆様のデジタル革新を加速させます～ IoTと言われる中、センサー・ネットワークの構築において、多くの課題が発生しています。富士通グループの総合力を生かし、センサーなどのデバイスや開発支援ツールなどをご提供し、お客様のIoT化を強力に支援します。</p>
	<div> <div>ネットワーク</div> <div>センシング</div> <div>監視</div> </div> <p>音を使ったIoTソリューション ～音を使って製造・生産工場現場の生産性・安全性を向上～ 製造現場が過酷である製造・生産工場現場を「きけない無縁」でIoT化し、製造設備や生産製品などの音/振動を分析して異常検知を行うスマート工場ソリューションをご紹介します。</p>

※ 展示会名称を一部変更させて頂きま



展示テーマ詳細 ※展示テーマは、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

テーマ名(上段)/展示内容説明(下段)	
F O T	カメラ向け画像ソリューション ～カメラ画像から文字、シンボル、物体の認識～ センシング タブレットのカメラで撮影した画像は、他の入力デバイス画像と異なり画質が悪いことが特徴です。これらの低画質画像を様々な画像補正処理で補い、高精度に文字やシンボルの認識、物体識別などを行うソリューションをご紹介します。
	小型視覚検出システムEyeExpert ～幅広い分野でデジタル革新を支援します～ センシング これまで難しいとされていたヒトの視覚を、小型視覚センサー (7.1mm×1.2mm×1.2mm) で検知します。小型搬送置きタイプのため、パチュールな視覚の動きを大量に計測することが可能となります。様々な応用が考えられる視覚検出システムEyeExpertをご紹介します。
	高信頼なIoTによる機器状況の見える化 ～小型サーバActiveAssist P1000の監視シーンへの活用～ セキュリティ オフィスや工場を対象に、お客様の機器の稼働状況/リソース使用、異常イベント発生、電力使用等を容易に見える化出来る仕組みをご紹介します。プラットフォームにP1000を適用することで4時間30分毎自動的に監視業務を支援します。
	脆弱性検証サービス ～ファジングによる未知脆弱性検証のススメ～ セキュリティ 未知の脆弱性を検出する手法として一般的に「ファジング」が効果的です。富士通研究所の技術者をベースに40年以上検証に携わってきたTMAPの検証ノウハウを生かし、ファジングによる未知脆弱性検証を実施するサービスをご紹介します。
	IoT自動化ツールGENESYのご紹介 ～IoT自動化の導入から運用・保守まで全面的に支援します～ 実務ツール ソフトウェア開発・構築・システム運用の現場で効率かつ品質確保可能なG U I 自動化ツール (Qualitypartner GENESY) の製品と、導入から保守までG U I 自動化の継続運用を支援する各種サポートについて紹介します。
K C N	次世代街路灯を活用した情報収集 ～人を見守るシステムの提案～ インフラ監視 次世代街路灯をセンサーネットワーク基盤として活用する事例として、見守りシステムとの連携のデモをご紹介します。
	デジタル革新を支えるワンストッププロダクト開発 ネットワーク Safeirus KH700シリーズ SHDSL伝送技術を用いた有線LANを延長することにより数km以上の長距離通信を可能とします 10G/10Gイーサネット 市販PCのPCI Expressスロットに搭載するだけでネットワーク負荷試験環境が構築できます 光るLANケーブル LANケーブルの接続確認を容易に行うアイデアをカタチにした製品です
	BLISS ～センサー@BLISSを使用した新たな取り組みの紹介～ センシング バイOMETロニクスのために生まれたセンサー端末は監視カメラへの利用から様々な分野へ新たな展開を始めています。
	Sports Form Digitalization ～スキルモニター for ゴルフ～ 各種 SaaS/PaaS 非接触式センサーで取得した人の各関節座標の3次元データを、ゴルフフォームとして「良い・悪い」をリアルタイムで解析します。
	K&I認証基盤を支える@管理サービス セキュリティ K&Iまでの認証基盤サービスを安全に提供するID管理サービスです。
M T C	閉域網を活用した秘匿性の高い携帯電話ソリューションの紹介 セキュリティ 市販の携帯電話やスマートフォンから通話やメール送受信を安全に行うために秘匿性の高い携帯電話ソリューションをご紹介します。
	5G向け高信頼性・低遅延「きれない無線」ソリューション ～生産・製造工場の利用領域を拡大～ ネットワーク 高信頼性の高信頼性が求められる自動化製造ラインの通信にも適用できる、高信頼かつ低遅延な「きれない無線」ソリューションを提案します。生産・製造工場の更なるIT利用領域の拡大に貢献します。
	建設・建築現場向け環境順応型「つながる無線」ソリューション ～建設・建築現場にも快適なコミュニケーションを～ ネットワーク 現場を遊覧車で覆われている製鉄所や造船所。また環境が日々変化するような建設・建造現場などの環境にも順応できる「つながる無線」ソリューションを提案します。作業現場での高効率化、効率化等をサポートします。
	モバイルテクノの先端無線技術 ～モバイルテクノの取り組み紹介～ ネットワーク モバイルテクノが培ってきた無線技術や先端研究開発の概要、またモバイルシステムや多重無線、IoT/M2M等、ますます多様化が進む無線・モバイルシステムの開発事例をご紹介します。
	NXS-TVL ～3次元可視化ツール～ 実務ツール 監視システム使用しているユーザーが、容易に3次元可視化画面を実現できる機能追加製品（来年度販売予定のプロト版）を紹介します。
Q N E T	NXS-PG/V、PE/V ～仮想環境向け負荷試験ツール～ 実務ツール 仮想デスターをVM (Virtual Machine) で提供し、簡単試験を実現しました。様々なプロトコルのパケットを用いたネットワーク負荷テストを行うNXS-PG/V、HTTP/HTTPSプロトコル (リクエスト/レスポンス) のエミュレートを行うNXS-PE/Vを紹介いたします。
	QSI P-FROST ～センシングデータとクラウドの活用～ 監視 園地の環境、機器、作業者の安全を監視する園地センシングネットワークの1事例として、遠隔監視と防犯ファン（機器）の稼働監視、制御を遠隔で可能とする、防犯ファン監視ソリューションをご紹介します。
	QSI P-SMH ～マンホールまでIoT化～ 監視 マンホールに取り付けた水位測定システムのネットワーク化を図ることで、収集した水位情報から下水氾濫の予兆を検知する仕組みをご紹介します。加えて、給電できない環境下での駆動技術 (エナジーハーベスト) を紹介します。
	QSI P-Manager ～信頼性を求めるIoTには必須！～ 監視 IoTセンサーネットワークの稼働状況を監視するソフトウェアパッケージを紹介します。



案内状

『富士通グループ会社 技術 & 製品展示会』の案内状 (523 KB)

2016年12月26日,PDFファイル

展示会についてのお問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社 ビジネス戦略室

☎ 電話: 092-852-3143

✉ E-mail: gnet-iot@cs.jp.fujitsu.com

以上

ページの先頭へ

[ホーム](#)[社長挨拶](#)[会社概要](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)[2014年](#)[2013年](#)[2012年](#)[バックナンバー](#)[製品＆サービス](#)[サポート＆ダウンロード](#)[採用情報](#)

PRESS RELEASE

2016年10月25日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

「@Drive/Cabinet V03L06」を販売開始

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、Webベースのファイル共有システム「@Drive/Cabinet（アットマークドライブ・キャビネット）V03L06」を提供開始します。

「@Drive/Cabinet」は直感的な操作性が特長のファイル共有システムです。2005年の発売以来多くのお客様にご利用いただいており、継続的に機能拡充を行っています。

今回提供する新バージョンではファイル名検索機能を提供します。Windows Server 2012 R2のサーバOS環境ではファイル検索機能を制限していましたが、今回新たなファイル名検索機能を提供します。

また、登録可能なファイルサイズの上限を1ファイル10GB（従来は2GB）に拡張しており、動画等の大容量ファイルの格納も可能となりました。

「@Drive/Cabinet」の導入をご検討いただけるお客様に、60日無料の体験版ライセンスもご用意していますので、専用フォームよりお申込みください。

製品名

- @Drive/Cabinet（アットマークドライブ・キャビネット）V03L06

特長

- 簡単：Windowsエクスプローラライクな操作性
- 安心：システムやファイルのアクセスログを確認することで情報漏えい抑止効果
- 安全：フォルダ単位に4段階（所有権、更新権、参照権、権利なし）の権限設定
- 便利：ほしいファイルがすぐ見つかるファイル名検索機能

関連リンク

- 製品紹介ページ
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/atdrive/>

販売開始

- 2016年10月

本件に関するお問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

☎ 電話 092-852-3023（直通）

✉ E-mail: qnet-atmark-drive@cs.jp.fujitsu.com

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

以上

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[利用条件](#) [個人情報保護ポリシー](#) [当社へのお問い合わせ](#) [サイトマップ](#)

Copyright 2005 - 2020 FUJITSU KYUSHU NETWORK TECHNOLOGIES LIMITED

[富士通ホームへ](#) 

ホーム

＞ 社長挨拶

＞ 会社概要

＞ 事業内容

▼ プレスリリース

＞ 2019年

＞ 2018年

＞ 2017年

＞ 2016年

＞ 2015年

＞ 2014年

＞ 2013年

＞ 2012年

＞ バックナンバー

＞ 製品＆サービス

＞ サポート＆ダウンロード

＞ 採用情報

PRESS RELEASE

2016年8月31日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

食・農クラウドAkisai施設園芸SaaS (※1) 向け 温湿度センサーの提供開始

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、食・農クラウド Akisai 施設園芸SaaSに利用できる環境制御用温湿度センサー（QSIP-GH-TH）(※2)を開発しました。（2016年8月提供開始）

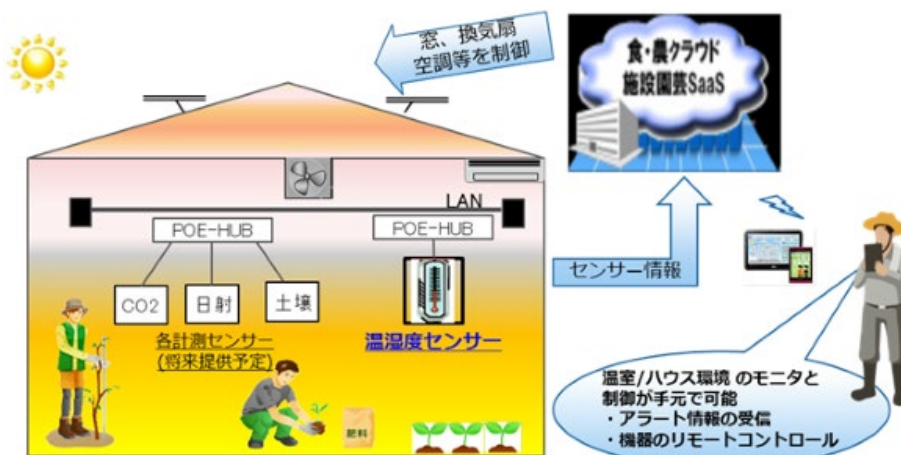
※1. 富士通㈱製品名：FUJITSU Intelligent Society Solution 食・農クラウド Akisai 施設園芸SaaS

※2. QSIP-GH-TH: QNET Sensor Network Iot Platform - Green House -Temperature and Humidity

本製品は、温室/ハウス内の農作業時に想定される水、塵や熱、取り外し時の落下リスクなどに対応した、耐久性の高い温湿度センサーです。

ファンレス構造の高い防塵防水性能を備え、灌水などを気にせずに使用できます。

システム適用事例



※本製品は、富士通㈱が提供する環境制御BOXに接続して使用します。

温室/ハウス内に設置した温湿度センサーや他の環境データをクラウド（施設園芸SaaS）に収集することで窓、換気扇、空調等の装置制御を行い、農作物を安定供給することが出来ます。

弊社は、今後、CO2、日射、土壌センサー等のその他センサーラインナップも拡充していく予定です。

特徴

- 温室又は、ハウス内利用での高温、多湿、結露、灌水などに対応
＞ 本体部の保護等級(防水、防塵)：IP65相当
- 直射日光や地面からの輻射熱の影響を抑え測定
- ファンレス仕様により、故障頻度が高いファンの問題を回避
- 温度センサーの故障検知機能を搭載
- POE接続の為、装置への電源線は不要

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

- ユビキタス環境制御システム(UECS)(※)対応
 - ※UECS（ウエックス）：Ubiquitous Environment Control System
 - UECS研究会の商標
 - 植物生産の新たな情報化標準としてUECS研究会によって規格化された国内で唯一の施設園芸標準通信規格。従来の集中管理型に比べ、低い導入コスト、設置の容易さ、メンテナンス性の良さで優れています。


関連リンク

- 製品&サービス
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/qsip/gh-th/index.html>

お問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

ソリューション統括部第二ソリューション部

 電話:092-852-3132

 E-mail:qnet-iot@cs.jp.fujitsu.com

以上

[ページの先頭へ](#) 

[ホーム](#)[社長挨拶](#)[会社概要](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)[2014年](#)[2013年](#)[2012年](#)[バックナンバー](#)[製品&サービス](#)[サポート&ダウンロード](#)[採用情報](#)

PRESS RELEASE

2016年8月2日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

組込み開発向け、RTOSエミュレータの提供開始

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、組込み開発向け、RTOSエミュレータ「QNET multiple OS abstraction interface library」（以下、QmOS™）の販売を開始しました。（2016年8月提供開始）

製品名

- QmOS™（キューモス）「QNET multiple OS abstraction interface library」

製品の特徴

QmOSは、様々なRTOSをLinux上で動作させるRTOSエミュレータです。近年の組込みソフトウェア開発は、開発期間の短縮、開発コスト圧縮が命題となっています。組込み装置開発の現場で、既存資産の有効活用をサポートするQmOSの導入により、お客様の開発コストを削減することができます。

- お客様のRTOS向けソフトウェアに記述されたプログラムやコードを最小限の変更で、そのままLinuxで実行可能です。
- RTOSレベルのμsecタイマ精度、RTOSタスクのスケジューリング、ハードウェア割り込み機能などを、ソフトウェアで実現。特許出願中（出願番号2015-021530）

関連リンク

- 製品&サービス
<http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/qmos/index.html>

販売開始

- 2016年8月

本件に関するお問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

☎ 電話：082-207-0347

✉ E-mail：qnet-qmos@cs.jp.fujitsu.com

以上

[ページの先頭へ](#)

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

ホーム

＞ 社長挨拶

＞ 会社概要

＞ 事業内容

▼ プレスリリース

＞ 2019年

＞ 2018年

＞ 2017年

＞ 2016年

＞ 2015年

＞ 2014年

＞ 2013年

＞ 2012年

＞ バックナンバー

＞ 製品＆サービス

＞ サポート＆ダウンロード

＞ 採用情報

PRESS RELEASE

2016年8月2日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

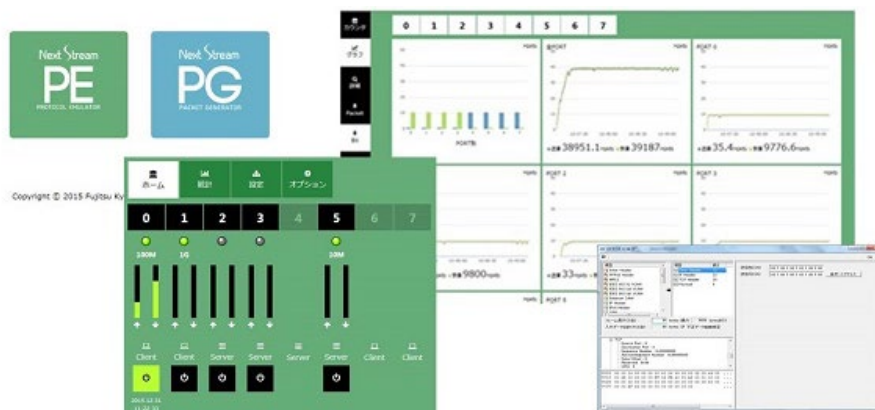
仮想化環境向け負荷試験ツール「NXS-PG/V」および「NXS-PE/V」を
販売開始

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市早良区百道浜2-2-1富士通九州R&Dセンター、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、仮想化環境向け負荷試験ツールである「Next Stream Packet Generator for Virtualization（NXS-PG/V）」および「Next Stream Protocol Emulator for Virtualization（NXS-PE/V）」の販売を開始します。

通信環境を効率良く構成するためにNFV(Network Functions Virtualization)が拡がりを見せ、ネットワーク仮想化に対する評価ニーズも増加していますが、従来のハードウェア製品による評価では、①テストを接続する物理網に依存するため仮想ネットワーク構成変更に追従した試験が容易にできない、②仮想ネットワーク上で提供するサービスの機能テストや性能評価を行うための環境構築にコストがかかる、といった課題があります。

当社のNXS-PG/V,NXS-PE/Vは、仮想テストをオンデマンドで配置できるため、試験対象VNF(Virtual Network Function)の増設や変更に対して柔軟に試験を行うことができます。

本製品の導入をご検討頂けるお客様には、試用版ライセンスのご提供も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。



製品名

- Next Stream Packet Generator for Virtualization (NXS-PG/V)
- Next Stream Protocol Emulator for Virtualization (NXS-PE/V)

主な機能

- NXS-PG/V
 - パケット編集・作成機能
 - パケット高負荷送信（コネクションレス型）

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

- パケット送信負荷調整
- パケット送受信統計情報表示（数値・グラフ）
- NXS-PE/V
 - HTTP/HTTPSクライアント・サーバ機能
 - HTTPヘッダ編集
 - HTTP/HTTPSリクエスト高負荷送信（コネクション型）
 - HTTP/HTTPS統計情報表示（数値・グラフ）

関連リンク

- 製品紹介ページ
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/nxs/pg-pe/>

販売開始

- 2016年8月

本件に関するお問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

☎ 電話 092-852-8034（直通）

✉ E-mail: qnet-nxs@cs.jp.fujitsu.com

以上

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[ホーム](#)[社長挨拶](#)[会社概要](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)[2014年](#)[2013年](#)[2012年](#)[バックナンバー](#)[製品&サービス](#)[サポート&ダウンロード](#)[採用情報](#)

PRESS RELEASE

2016年7月5日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

ザイリンクス社と「アライアンス プログラム(“Certified”メンバー)」
パートナーシップを結ぶ

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦、以下 QNET）は、業界トップの All Programmable FPGA、SoC、MPSoC、および 3D IC プロバイダー ザイリンクス社と、アライアンス・プログラムの“Certified”(認定)メンバーとしての協力関係を締結いたしました。

本プログラムは、ザイリンクス社が製品開発サイクルの短縮、リスクの軽減、およびコスト/性能/消費電力に対するシステムインプリメンテーション最適化のサポートを目的として提供されるパートナー・プログラムです。

本プログラムの“Certified”メンバーとなった当社は、プログラマブルロジックの進歩と共に約30年に渡る開発ノウハウをベースとして築き上げた「4つの技術(*1)」と「独自の品質システム(*2)」により構成される「FPGAデザインサービスソリューション」を提供しております。

今後は、本プログラムにより当社ソリューションを更に進化させるとともに、ザイリンクス社製品を利用されるお客様への最適な開発サポートに取り組んで参ります。

*1: 4つの技術

- ① 要素技術：ネットワーク/画像領域を中心とする開発技術
- ② ロジック設計技術：開発に適した戦略的開発技術
- ③ デバイス活用技術：デバイス性能を最大限に引き出す設計技術
- ④ マネジメント技術：大規模開発で蓄積した開発マネジメント技術

*2: 独自の品質システム

QNET品質マネジメントシステムは、ISO9001ならびにCMMI に基づき構成されています。

当社のアライアンス・プログラム メンバー入りに際し、ザイリンクス株式会社代表取締役社長、ならびに、ザイリンクス社日本および韓国担当バイスプレジデントの サム ローガン(Sam Rogan)様から、以下のコメントを戴きました。

「富士通九州ネットワークテクノロジーズ社がXilinx Alliance ProgramのCertified Memberになって頂いたことで、両社の協力関係は一層深まることになります。これからはXilinx All Programmable Platformを採用するお客様に、富士通九州ネットワークテクノロジーズ社が提供する優れたFPGAデザインサービスソリューションを積極的に推奨することで、お客様の早期製品開発及び市場での成功に大きく貢献できると期待します。」

本件についてのお問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

第四開発統括部 ビジネス企画担当

☎ 電話：092-707-0476

✉ E-mail：qnet-fpgasol@cs.jp.fujitsu.com

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

[ホーム](#)[社長挨拶](#)[会社概要](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)[2014年](#)[2013年](#)[2012年](#)[バックナンバー](#)[製品&サービス](#)[サポート&ダウンロード](#)[採用情報](#)

PRESS RELEASE

2016年7月5日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

アルテラ（インテル プログラマブル・ソリューション事業本部）の
「デザイン・ソリューション・ネットワーク（DSN）」に加盟

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦、以下 QNET）は、このほどFPGAをはじめとするカスタム・ロジック・ソリューションのリーダーであるアルテラ（インテル プログラマブル・ソリューション事業本部）が展開する、デザイン・ソリューション・ネットワーク（以下 DSN）に加盟いたしました。

DSNは、製品開発の加速、及び市場投入期間の短縮支援を目的として提供される経験豊富なグローバル・エコシステム・パートナー・プログラムです。

本プログラムメンバーの一員となった当社は、プログラマブルロジックの進歩と共に約30年に渡る開発ノウハウをベースとして築き上げた「4つの技術(*1)」と「独自の品質システム(*2)」により構成される「FPGAデザインサービスソリューション」を提供しております。

今後は、DSNにより当社ソリューションを更に進化させるとともに、アルテラ製品を利用されるお客様への最適な開発サポートに取り組んで参ります。

*1: 4つの技術

- ① 要素技術：ネットワーク/画像領域を中心とする開発技術
- ② ロジック設計技術：開発に適した戦略的开发技術
- ③ デバイス活用技術：デバイス性能を最大限に引き出す設計技術
- ④ マネジメント技術：大規模開発で蓄積した開発マネジメント技術

*2: 独自の品質システム

QNET品質マネジメントシステムは、ISO9001ならびにCMMI に基づき構成されています。

当社のDSNメンバー入りに際し、日本アルテラ株式会社の代表取締役社長 和島 正幸 様から、以下のコメントを戴きました。

「富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社の最先端・大規模FPGA設計における実績を評価し、デザイン・サービス・ネットワーク（DSN）パートナーに加盟いただくことになりました。同社が30年以上にわたり蓄積してきたFPGA設計におけるノウハウを、通信機器のみならず、医療機器、車載、放送機器、データセンター等のアプリケーションを開発するお客様にもDSN プログラムを通じて提供できるようになったことで、日本のお客様への設計支援が強化され、FPGA市場のすそ野がさらに広がることを期待しております。」

本件についてのお問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

第四開発統括部 ビジネス企画担当

☎ 電話：092-707-0476

✉ E-mail：qnet-fpgasol@cs.jp.fujitsu.com

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

[ホーム](#)[＞ 社長挨拶](#)[＞ 会社概要](#)[＞ 事業内容](#)[▼ プレスリリース](#)[＞ 2019年](#)[＞ 2018年](#)[＞ 2017年](#)[＞ 2016年](#)[＞ 2015年](#)[＞ 2014年](#)[＞ 2013年](#)[＞ 2012年](#)[＞ バックナンバー](#)[＞ 製品＆サービス](#)[＞ サポート＆ダウンロード](#)[＞ 採用情報](#)

PRESS RELEASE

2016年6月1日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

Interop Tokyo 2016に出展します

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡市早良区百道浜2-2-1富士通九州R&Dセンター、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、来る6月8日～10日の3日間、千葉県幕張メッセで開催される国内最大級のネットワーク関連イベント「Interop Tokyo 2016」に富士通グループとして出展します。

当社は、広がりを見せる様々なIoTネットワークをより手軽に、快適に構築・運用するための製品、及び技術紹介の展示を行います。

また、ShowNetスポンサーステージで、テーマ：『お手軽IoT！こんな「モノ」まで監視」します』のプレゼンテーションを行いますので、多数のお客様のご来場をお待ちしております。

展示の見どころ：

様々なセンサーやネットワークモジュールの組み合わせを可能とするセンサーネットワーク共通基盤(QSIP- SensorNode)の提供から、構築したネットワークの監視と制御を行う運用システム(QSIP- Manager)、そしてセンサー情報を活用するIoTアプリ等、一括で提供することが可能な、プラットフォームパッケージである『QSIP(QNET SensorNetwork IoT Platform)』を展示いたします。

様々な「モノ」がネットワークに繋がろうとしています。ネットワークに直接繋がられなかった「モノ」でさえ、IoTによって「状態の見える化」ができるようになります。IoTを活用し、現地に赴くことなくお手軽にモノの状態を見る化することで、皆様の業務効率化を実現します。

例： マンホール内の状態(水位センサー) ⇒ 水害に対する予兆検知
防霜ファンの稼働状況(振動センサー) ⇒ 農作物の自然被害防止
ビニールハウスの温度(温度湿度センサー) ⇒ 農作物の生産性向上

この「モノの監視(見える化)」の仕組みを手軽に構築し効率的な運用をするための製品が『QSIP』です。

< QSIPの主な特徴 >

- ①「モノのネットワーク」を創る
 - QSIP- SensorNodeとQSIP- Managerをワンストップでご提供することで、導入から運用までのコストを大幅に削減
- ②「モノ」をネットワークに繋ぐ“QSIP- SensorNode”
 - お客様のビジネスシーンに合わせ、最適なセンサー/ネットワークを組み合わせたデバイスを提供
 - 様々な設置環境での稼働を想定した電源供給により、どんな場所でもネットワークに接続
 - 通信費の低コスト化によりランニングコストを低減
- ③「モノ」の状態を知る“QSIP- Manager”
 - センサーの稼働状況や収集した情報を可視化するマネージャーシステムを提供
 - マネージャーシステムによる遠隔監視により、保守者の移動コストを削減

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

-
- The diagram illustrates the QSIP IoT platform architecture. At the top, the title "QSIP® センサーネットワーク IoT プラットフォーム" is displayed. The architecture is divided into several layers:
- Cloud Layer (クラウド):** A central grey cloud labeled "クラウド". To its left is a pink cloud labeled "QSP-Manager" containing icons of a tablet, a laptop, and a server rack. To its right is a green cloud labeled "IoT アプリ" containing icons of two server racks and a laptop.
 - Intermediate Network Layer (中継ネットワーク):** Below the cloud layer, it is labeled "中継ネットワーク" with the subtext "インターネット / イントラネット / キャリア回線". It shows two blue sensor nodes connected via dashed blue lines to the cloud layer. Each node has a Wi-Fi symbol above it.
 - Sensor Network Layer (センサーネットワーク):** Labeled "センサーネットワーク" and "センサーネットワーク共通基盤". It features a central grid of six interlocking puzzle pieces representing different communication protocols:
 - 短波長光通信 (Short Wavelength Optical Communication)
 - 赤外線 (Infrared)
 - 920MHz (920MHz)
 - BLE (Bluetooth Low Energy)
 - 無線LAN (Wireless LAN)
 - 衛星 (Satellite)
 - LTE (LTE)
 - WiFi (Wi-Fi)
 - 有線LAN (Wired LAN)
 - USB (USB)
 - Hardware Components:**
 - A solar panel icon labeled "太陽光" (Solar Light) and a battery icon labeled "バッテリー" (Battery).
 - An icon labeled "AC/DC変換回路" (AC/DC Conversion Circuit).
 - An icon labeled "ハーベスティング" (Harvesting).
 - Bottom Right:** A white box labeled "QSIP-SensorNode" next to a magnifying glass icon over a plus sign.

The diagram illustrates the QSI-P system architecture. It starts with a **センサーノード** (Sensor Node) which includes a **発電モジュール** (Power Generation Module). This node is shown monitoring the **下水の水位を監視** (Monitoring of sewage water level). The sensor node communicates via a **ゲートウェイ** (Gateway) to the **クラウド** (Cloud). The cloud then connects to the **QSI-P-Manager**, which displays a map and data graphs on a computer screen. A person is shown interacting with the manager interface. A **QSI-P-SensorNode** is also shown as a physical device.

センサネットワーク 共通基盤

ファンの回転首振りを監視

ファンセンサーノード

マルチホップネットワーク

ゲートウェイ

クラウド

情報蓄積 / 分析 / 予測

故障検知
経年劣化検知
最適稼働の自動制御

ファンの稼働状態を表示

エンドユーザ

リアルタイム監視画面

Q SIP-Manager

Q SIP-SensorNode

温度センサー
畑の温度を監視

開催日	2016年6月8日（水曜日）～6月10日（金曜日）
会場	幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1）
富士通グループブース小間番号	ホール5（5D32）

主催	Interop Tokyo 実行委員会
運営	一般財団法人インターネット協会 株式会社ナノオプト・メディア
URL	http://www.interop.jp/
関連ページ	http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/resources/news/press-releases/2016/0310.html

出展予定製品

< 出展予定 >

●QSIP

QSIP(QNET SensorNetwork IoT Platform)では以下の製品ラインナップを用意しております。

①QSIP- SensorNode

センサーやネットワークモジュールの組み合わせを可能とするセンサーネットワーク共通基盤です。

②QSIP-Manager ※2016年上期内リリース予定

センサー機器の監視・制御、およびセンサーの配置に関する各種支援等を行うソフトウェアです。

< ShowNetスポンサーステージ >

●テーマ：『お手軽IoT！こんな「モノまで監視」します』

QSIPの適用した簡単・便利なIoTの活用方法をご紹介します。

日時：6月9日（木曜日） 13時～13時20分

場所：スポンサーステージ特設会場（ホール4）

展示内容についてのお問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社 ビジネス戦略室

☎ 電話：092-852-3143

✉ E-mail：qnet-iot@cs.jp.fujitsu.com

以上

[ページの先頭へ](#) 

[ホーム](#)[社長挨拶](#)[会社概要](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)[2014年](#)[2013年](#)[2012年](#)[バックナンバー](#)[製品＆サービス](#)[サポート＆ダウンロード](#)[採用情報](#)

PRESS RELEASE

2016年3月10日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

センサーネットワークIoTプラットフォームの提供開始

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、センサーネットワークIoTプラットフォームパッケージ「QNET SensorNetwork IoT Platform」（以下、QSIP）を開発しました。（2016年3月提供開始）

サービスの特徴

QSIPは、様々なセンサーやネットワークモジュールの組み合わせが実現できるセンサーネットワーク共通基盤です。更に、監視と制御を行う運用システム、構築されたセンサー情報を活用するIoTアプリ等、幅広く、トータルでのサービス提供が可能なプラットフォームパッケージです。

QSIPを基盤としたサービスには、以下の特徴があります。

1. センサーネットワーク共通基盤のスピーディーな提供
お客様のニーズに合わせたセンサーネットワークの実現方式をご提案し、機器の提供をスピーディーに行うことができます。
2. 遠隔監視・制御を実現する運用支援システム
センサー機器の監視・制御、およびセンサーの配置に関する各種支援等を行う基本ソフトウェアです。お客様の用途に合わせた画面などの個別のカスタマイズが可能です。
（2016年上期リリース予定）
3. 各種サービスを実現するIoTアプリ
センサーで収集し蓄積された情報を元に統計分析等のサービスを提供できるアプリケーションです。

全体構成図

[拡大イメージ](#) (92 KB)

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

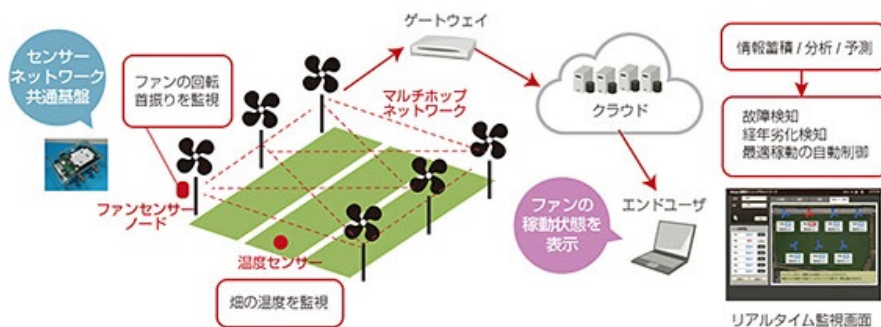
このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

当社は、IoTシステムの開発実績・ノウハウを基に、お客様のサービスイメージの実現に向けて最適な方法を提案し、お客様の用途に合わせた運用支援システムのカスタマイズや統計分析等のご要望にも対応していきます。

活用事例

- 茶園防霜ファン故障検知システム（実証実験中）



↓ [拡大イメージ](#) (77 KB)

関連リンク

- 製品＆サービス
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/>

本件に関するお問い合わせ先

ビジネス戦略室

☎ 電話：092-852-3143

✉ E-mail：qnet-iot@cs.jp.fujitsu.com

以上

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) ↑

ホーム

＞ 社長挨拶

＞ 会社概要

＞ 事業内容

▼ プレスリリース

＞ 2019年

＞ 2018年

＞ 2017年

＞ 2016年

＞ 2015年

＞ 2014年

＞ 2013年

＞ 2012年

＞ バックナンバー

＞ 製品＆サービス

＞ サポート＆ダウンロード

＞ 採用情報

PRESS RELEASE

2016年2月18日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

「@Drive/Cabinet V03L04」を販売開始

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市早良区百道浜2-2-1富士通九州R&Dセンター、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、Webベースのファイル共有システム「@Drive/Cabinet（アットマークドライブ・キャビネット）V03L04」を提供開始します。

ファイル共有システム「@Drive/Cabinet」は、発売以来多くのお客様にご利用いただいております。継続的に機能拡充を行っています。

今回、ご提供するバージョンでは、システムを利用するユーザIDやパスワードに関するセキュリティ対策を強化しており、安易なパスワードを設定しているユーザや休眠ユーザのIDを悪用した情報漏えいなど、セキュリティ事故が発生するリスクを軽減します。

本製品の導入をご検討頂けるお客様には、試用版ライセンスのご提供も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

製品名

- @Drive/Cabinet（アットマークドライブ・キャビネット）V03L04

特長

- 簡単：Windowsエクスプローラライクな操作性
- 安全：フォルダ単位に4段階（所有権、更新権、参照権、権利なし）の権限設定
- 安心：システムやファイルのアクセスログを確認することで情報漏えい抑止効果

関連リンク

- 製品紹介ページ
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/atdrive/>

販売開始

- 2016年2月

本件に関するお問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

☎ 電話 092-852-3023（直通）

✉ E-mail: qnet-atmark-drive@cs.jp.fujitsu.com

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

以上

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[利用条件](#) [個人情報保護ポリシー](#) [当社へのお問い合わせ](#) [サイトマップ](#)

Copyright 2005 - 2020 FUJITSU KYUSHU NETWORK TECHNOLOGIES LIMITED

[富士通ホームへ](#) 